

目的・事業

本記念会は、セラミックスに関する科学技術の相互交流と進歩に寄与すると共に、業績著しい若手研究者・技術者の表彰を支援し、更には日・米・アジアの国際交流の発展に貢献することを目的とし、次の事業を行います。

1. セラミックスに関する研究発表会、講習会等の開催
2. フルラス賞日本側受賞候補者の推薦
3. フルラス賞応募書類の内容確認と米国側委員会への送付
4. フルラス賞受賞者の講演会、祝賀会などの開催、または支援
5. 岡崎清賞受賞者の選出と表彰
6. 岡崎清功労賞受賞者の選出と表彰
7. 岡崎清賞、岡崎清功労賞の祝賀会、講演会等の支援
8. その他本記念会の目的を達成するために必要な事業

役員・顧問

役 員

会 長	幾原 雄一(東京大学)
副会長	今中 佳彦(上智大学)
監事	秋本 裕二(昭栄化学工業株式会社) 嶋田 勇三 ((一社)日本実装技術振興協会)

顧 問

名誉顧問	一ノ瀬 昇(早稲田大学) 鶴見 敬章(東京工業大学)
------	-------------------------------

賛助会員

株式会社村田製作所 / 昭栄化学工業株式会社 / TDK株式会社 / 太陽誘電株式会社 / 堺化学工業株式会社 / 株式会社半導体エネルギー研究所 / 京セラ株式会社 / 日本特殊陶業株式会社 / AGC株式会社 / 東ソー株式会社 / 東邦チタニウム株式会社

会員

1. 正会員

本記念会の事業を後援し、終身会費を納めたフルラス賞、フルラスパシフィック賞、リチャード M. フルラス賞、岡崎清賞、岡崎清功労賞受賞者および賛助会員より若干名。

2. 賛助会員

本記念会の目的に賛同し、原則、年会費を2口以上納めた法人(1口10万円)。

3. 名誉会員

フルラス賞、フルラスパシフィック賞、及びリチャード M. フルラス賞、岡崎清賞、岡崎清功労賞の発展に功績があった個人、及び法人であり、役員会により推薦され、会長により委嘱される。



The
**FULRATH
OKAZAKI**
Memorial Association

フルラス・岡崎記念会

The Fulrath Okazaki memorial association

フルラス・岡崎記念会事務局

〒113-8656 東京都文京区弥生 2-11-16

東京大学大学院 工学系研究科 総合研究機構 結晶界面工学研究室内

E-mail : office@fomemorial.com / fulrath@sigma.t.u-tokyo.ac.jp

TEL. 03-5841-7688, FAX. 03-5841-7694

本会への入会については、上記アドレスにお問い合わせください。



ご挨拶

2023年6月に開催されたフルラス・岡崎記念会総会にて、同記念会会長を拝命致しましたので、これを機会にご挨拶申し上げます。

当記念会は、Richard M. Fulrath教授と岡崎清教授の交流を起点として発展した日米間のセラミックス関連の研究者・技術者を表彰するとともに日米間の産学連携を活性化させることを目的として発足しました。セラミックスは、電子セラミックス、構造セラミックスを問わず、社会基盤、環境、エネルギー、情報など種々の分野において非常に重要な役割を担っています。また、セラミックス分野の国際化、とりわけ日米間の交流もさらなる展開が期待されています。このような背景の下、当記念会が果たす役割は益々重要になっています。

フルラス賞は、毎年、日本側から学術部門1件、産業部門2件、米国側から学術部門1件、産業部門1件が受賞対象となっています。学術部門、産業部門とも学術の進歩と産業の発展に貢献した若手研究者・技術者が受賞されますが、米国セラミックス協会からの正式な国際賞として表彰されることが特徴です。同賞の受賞件数として産業部門にやや重きをおいているのは、セラミックス産業におけるものづくりの重要性、日米間の産学共同研究の重要性を反映しております。一方、岡崎清賞は、電子セラミックス分野の研究、技術開発、製造・生産に優れた業績を上げた個人またはグループに授与するもので、フルラス賞と相補的な関係でもあります。

当記念会では、フルラス賞および岡崎清賞の表彰以外にも、米国セラミックス協会との強固な連携、日米の関連研究者・技術者との懇談会、受賞者の講演を中心としたシンポジウムの開催、米国からの受賞者の招聘、大学・企業への訪問、日米共同研究の推進、日本セラミックス協会との連携などについてもさらに推進して行く予定です。

以上、当記念会をさらに発展させ、特に日米間のセラミックス研究の推進、普及に貢献できるように努めて参りたいと思いますので、会員各位、賛助会員の皆様にはさらなるご支援・ご指導をお願い致します。また、本趣意にご賛同いただける企業各位には賛助会員としてご支援を賜れば幸いです。



フルラス・岡崎記念会
会長 幾原 雄一

概要

Richard M. Fulrath(フルラス) 教授の名前を冠したRichard M. Fulrath Award(フルラス賞)は、米国セラミックス協会の表彰制度で、毎年、米国側2名、日本側3名の若手セラミックス研究者に授与されています。カリフォルニア大学パークレー校の教授であったフルラス先生は、1977年7月16日に病気のために52才の若さで亡くなりました。何回も訪日され日本の研究者とも親交が深かった先生を忍び、同年11月11日に、東京のマツヤサロンでフルラス教授を偲ぶ会が開催され、40人を超える人たちが集まりました。これをきっかけに、日本側の113人が発起人となって、本記念会の前身であるフルラス記念会が発足しました。当時、防衛大学校教授の岡崎清教授は、フルラス教授と特に親交が深く、会の発足に当たっては中心的に活動され、フルラス記念会初代会長に就任されました。この岡崎清教授も、1997年3月11日に亡くなりました。岡崎先生は、京都大学をご卒業後50年あまり、人生を強誘電体セラミックスの研究に捧げられ、研究論文、著書など数々のすばらしい足跡を残された。その功績をたたえ、2004年に、フルラス記念会をフルラス・岡崎記念会と改め、同時に、岡崎清賞、岡崎清功労賞を設置しました。

フルラス・岡崎記念会の会員は、正会員であるフルラス賞、岡崎清賞、岡崎功労賞の歴代受賞者約130名に加え、本記念会の活動を支援する賛助会員(法人)、および、本記念会の発展に特に貢献のあった名誉会員から構成されます。本記念会は、セラミックスに関する科学技術の相互交流と進歩に寄与すると共に、業績著しい若手研究者・技術者の表彰を支援し、更には日・米・アジアの国際交流の発展に貢献することを目的として活動を行っています。

Richard M. Fulrath 先生(1924～1977)



Fulrath 先生は、セラミックスの、機械的、物理的、電気的な特性に関する研究を主体にしていたが、特性の良いエレクトロニク・セラミックスを得るためのプロセシングの基礎に関する研究をはじめとして数々の研究業績を上げられている。先生は、偉大な研究者であったと同時に、たいへん優れた教育者でもあった。また、米国セラミックス学会の副会長を務められたり、同学会の北カリフォルニア支部の支部長や、核部会の部会長なども歴任された。

岡崎 清 先生(1924～1997)



岡崎先生は、チタン酸バリウム実用化研究会編集幹事をはじめ、第1回から6回までの強誘電体会議の運営委員、第1回、2回誘電体・圧電体セラミックス日米セミナー組織委員長、第3回日ソ強誘電体シンポジウム副委員長、フルラス記念会会長など、さまざまな会を主催され、この分野の発展に大きく寄与された。また、代表的な著書である「セラミック誘電体工学」をはじめ、「電気材料工学演習」など、セラミック電子材料に関する多くの本を出版された。

Richard M. Fulrath 賞 応募要項

フルラス賞は、米国と日本のセラミック科学・工学分野の技術交流に多大な貢献のあったカリフォルニア大学パークレー校の故フルラス教授を哀悼して1978年から設けられたものです。近年、米国セラミック学会 Northern California Section が中心となり日本のフルラス・岡崎記念会と協力し、候補者の選定、シンポジウムの開催を行ってきましたが、20年目の節目を機会に米国セラミック学会、日本セラミックス協会、フルラス・岡崎記念会が協力して候補者を選定し、米国セラミック学会の年会で受賞式およびシンポジウムを行うことになりました。本賞は、米国側は、学術部門から1名、産業部門から1名の計2名に、日本側は、学術部門から1名、産業部門から2名の計3名に授与されます。学術分野の受賞者には、副賞として、渡航費2,000米ドルが授与されます。

日本側の候補者は下記の要領で公募し、一旦フルラス・岡崎記念会に推薦書を提出していただき、内容確認後、本記念会から米国の選考委員会にまとめて送付します。推薦書は、年齢が45才以下の場合は5年間有効です。

スケジュール

公募期間	毎年7月1日～11月30日
授賞者の内定	翌年の5月頃
授賞式	翌年の10月頃の米国セラミックス学会年会バンケット会場
記念講演	MS&T(上記の学会年会)のRichard M.Fulrath Award Session



応募資格

【学術部門】

- セラミックスの科学・工学に関し優れた研究をなし、学術の進歩と産業の発展に多大な貢献をした大学および公的研究機関に属する年齢45歳(米国での受賞日の前日まで)以下の若手研究者、技術者。
- 過去のあらゆる賞の受賞の有無は問いません。

【産業部門】

- セラミックスの科学・技術に関し優れた研究をなし、学術の進歩と産業の発展に重要な貢献をした企業に属する年齢45歳(米国での受賞日の前日まで)以下の若手研究者・技術者。
- 過去のあらゆる賞の受賞の有無は問いません。



推薦者

- フルラス・岡崎記念会会員
- (社)日本セラミックス協会支部長、部会長、理事



推薦応募受付期間

毎年7月1日～11月30日

※応募書類はホームページよりダウンロードしてください。
<https://www.fomemorial.com/guideline.html>

岡崎 清 賞 応募要項

フルラス・岡崎記念会は、「岡崎清賞」を創設し、2006年から授賞を始めました。岡崎清賞は、我が国の電子セラミックス工学分野の発展に大きく貢献のあつた故岡崎清教授(元防衛大学校教授/元湘南工科大学教授)の意志を着実に継承し、更に発展させていくため、電子セラミックスの研究、開発、生産の中核を担っている研究者、技術者で、研究・開発・生産に特に優れた成果をなした個人、又はグループを表彰します。岡崎清賞の選考は、学識経験者および産業界で活躍した経験者からなる岡崎清賞選考委員会で行われ、毎年3件以内で受賞者を決定します。選考にあたっては、発表論文数などのみでなく、現場で新製品を育て上げるための独創的なアイデア、技術なども重要な評価の対象としています。岡崎清賞の選考は、学識経験者および産業界で活躍した経験者からなる岡崎清賞選考委員会で行われ、毎年3件以内の受賞候補者を決定します。

受賞者は、本記念会総会(毎年6月開催)と同時に開催される授賞式で表彰されます。なお、賞状の他に副賞として10万円が授与されます。



受賞資格

- 電子セラミックス分野の研究、技術開発、製造・生産に優れた業績を上げた個人、又はグループ。グループは原則として5名以内とします。
- 年齢制限はありません。
- 過去のあらゆる賞の受賞の有無は問いません。



推薦応募受付期間

毎年7月1日～11月30日

※応募書類はホームページよりダウンロードしてください。
https://www.fomemorial.com/oubo_okazaki.html



推薦者

- フルラス・岡崎記念会会員、又は自薦いづれでも結構です。

応募書類送付先・連絡先

フルラス・岡崎記念会事務局

〒113-8656 東京都文京区弥生2-11-16

東京大学大学院 工学系研究科 総合研究機構

結晶界面工学研究室内 フルラス・岡崎記念会事務局

E-mail: office@fomemorial.com / fulrath@sigma.t.u-tokyo.ac.jp

(E-mail は、必ず、2箇所送信してください。)

TEL. 03-5841-7688, FAX. 03-5841-7694